

Safety

DOWAグループは、事業を通じてCSR活動を推進するにあたり、労働安全衛生を最も重要なテーマの一つと考え、「安全はすべてに優先する」との基本理念に基づき、さまざまな安全活動を展開しています。

CSR方針

- 「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す
- 労働災害を防止し、従業員の健康づくりを支援する

重点施策

海外子会社安全教育の強化

テクニカル・トレーニングセンター 来日研修

DOWAグループでは「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指しています。

安全衛生に関する法制度・基準は国や地域ごとに異なり、また、安全意識も差があるため海外子会社安全教育の強化を重点施策に掲げています。海外の現地スタッフにもこの基本理念を理解してもらい、全社的に浸透していくよう、安全活動教育の支援体制を強化しています。

その取り組みの一例として、2014年度に海外スタッフの来日研修プログラムをスタートさせていましたが、2015年度には新たに対象国を拡大し、来日研修や出前教育を展開しました。

来日研修プログラムと フォローアップ・ミーティング

来日研修プログラムは、静岡県磐田市にあるセーフティ・トレーニングセンターおよびテクニカル・トレーニングセンターにて、1週間かけて安全講義や危険体感教育、設備保全教育を実施します。具体的な内容としては、『DOWAグループの安全衛生方針』、「安全である」とはそもそもどのような状態・行動か、事故災害発生のしくみ、リスクアセスメント、作業手順などの講義や、巻き込まれ体験、感電体験、人形を用いた高所落下再現などの危険体感を通じての安全教育、5Sや自主保全・計画保全など専門講師による実技教育になります。これらは、来日した研修生自身が学ぶだけでなく、帰国後に海外各社における「安全の伝道師」となるためのプログラム



活動の進捗状況

安全分野における2015年度の活動状況と、2016年度の計画は以下のとおりです。

2015年度 実績

安全重点施策	取り組み	目標	評価	主な実績
全社安全レベルの底上げ	● 地区単位横断での取り組みの強化	度数率1.0以下	×	0.98
		強度率0.02以下		1.35
海外子会社安全教育の強化	● 来日教育、出前教育の継続実施	回数：5回	○	13回
		人数：50人		136人

2016年度 取り組みと目標

全社安全レベルの底上げ	地区単位横断での取り組みの強化	➡	度数率0.9以下 強度率0.02以下
海外子会社安全教育の強化	来日教育、出前教育の対象国増	➡	4ヶ国以上

となっているのが特徴です。2015年度にはタイ、中国、インドネシアより計36名の現地スタッフが5回に渡り来日し、合格と認められた受講者は修了証を手に安全の伝道師として帰国しました。

来日研修後に自社に戻ってから展開した安全や5S活動や設備自主保全などの活動報告ができていたのか、日本で教えた専門講師陣が現地を訪問し、所属会社トップも交えてフォローアップ・ミーティングを開催しました。「もともと毎月安全パトロールを実施していたが、5Sについても推進力が高まり毎月5Sパトロールも実施できる体制ができた」「故障させてしまってからメンテナンス部隊を呼ぶのではなく、オペレーターの早期異常に対する意識が高

まった」などの効果を確認しています。

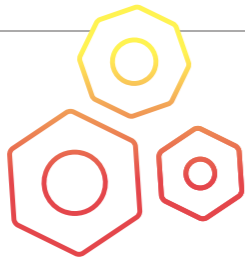
来日研修のほかにも、国内のスタッフが現地に赴いて教育する「現地安全教育」にも力を入れています。2015年度はタイにて「正しい工具の使い方」の教育を重点的に行いました。来日研修や現地安全教育の取り組みの成果により、海外での災害発生件数は着実に減少してきています。今後も、現地での安全大会などを定期的に開催し、DOWAグループ全体としての安全活動を推進していきます。



DTIでのフォローアップ・ミーティングの様子



危険体感教育での「ボール盤巻き込まれ」



労働安全の取り組み

DOWAグループは「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す」というCSR方針のもと、全事業所において安全衛生委員会などの組織を整備し、年間安全衛生計画に基づいてさまざまな安全活動を展開しています。

国内での取り組み

2013年度よりグループ全社に展開した全社安全運動プロジェクトにより、国内の事業所では「あるべき姿」＝【最も実効性の高い安全活動のやり方】と現状のギャップを確認し、あるべき姿の実現に向けた改善計画に基づいた取り組みを確実に進めています。

■安全表彰

秋田市でインジウムのリサイクルを行う秋田レアメタルでは、無災害期間を長く続けています。2015年度は、以前より実施してきた改善活動や小集団活動にリスクアセスメントの手法を取り入れ、リスク低減と作業効率の改善を同時に達成したことにより安全に関する社長表彰を受賞しました。事例研究の取り組みでは、他社の事故事例を自分の職場に置き換えて類似リスクを想定し、リスクアセスメントや5W1Hのチェックを行うなど、事故や災害を自分事として捉えられるよう安全意識の向上に努めています。



マンホール軽量化によるリスク低減と作業時間の短縮

海外での取り組み

DOWAグループの事業所が多く立地する東南アジアでは、2013年度から拠点間合同の安全クロスパトロール等を開始しました。2015年度は、現場力の強化を担う人材の育成を目的として、中国・タイ・インドネシア拠点の安全担当者の来日研修などの教育活動の拡大に努めました。

■人材育成の取り組み

インドネシアのDOWAサーモテックインドネシアでは、安全や品質、コンプライアンス等で現地の人材育成に力を入れています。5S活動の推進や独自映像を使つての教育、報・連・相の徹底、挨拶活動により日本国内工場並みの高品質と工場の清潔さを保ち、ユーザーからの信頼を獲得して業績向上につながりました。また、DOWAグループの企業理念や行動指針のほかに、インドネシアの法律・文化などを考慮した方針、行動規範を制定し、社内研修、朝礼勉強会や従業員のコミュニケーションを通して周知と教育の実施をしています。



独自ビデオ教材による教育

TOPICS 安全衛生優良企業の認定

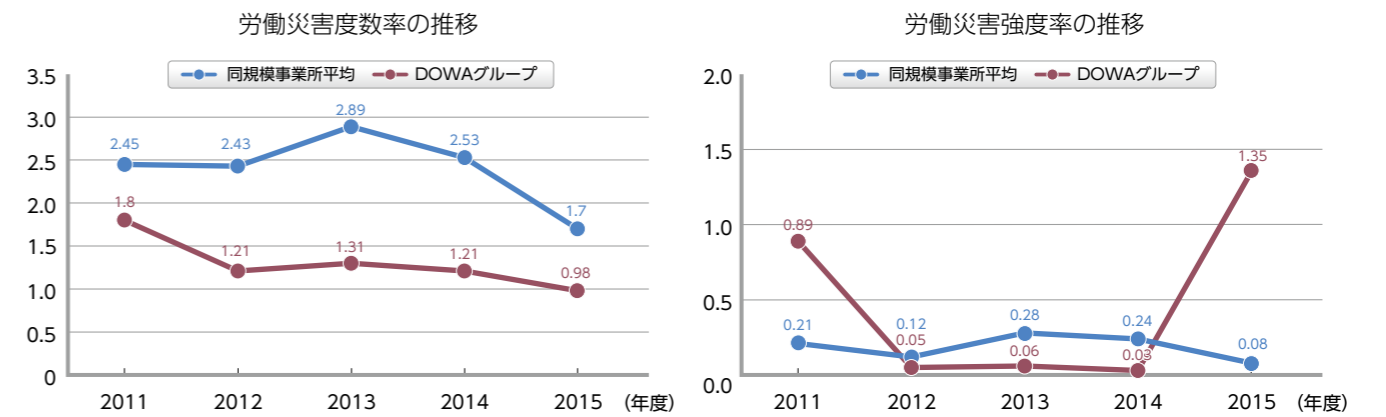
2015年、「働く人の安全と健康こそ企業の実績」という目的で始まった厚生労働省「安全衛生優良企業」の公表制度により、廃棄物の溶融リサイクルを行うメルテックが、全国で17番目に、栃木県では初となる認定を受けました。本認定は労働者の健康保持増進対策、メンタルヘルス対策、安全管理などの幅広い分野で取り組みを行っていることが条件とされますが、メルテックの危険箇所見える化の推進や全員参加による安全大会の実施等の活動が評価されました。



労働災害の発生状況

厚生労働省災害統計における同規模の事業所での数値と比較すると、度数率は1.70に対して0.98、強度率については0.08に対し1.35となり、強度率が災害統計より高い値を示しています。

※従業員が100～299人(当社の各事業所における平均従業員数)の2015年度の災害統計確定値と比較



度数率 100万延べ労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって災害の頻度を表した指標

強度率 1,000延べ労働時間当たりの労働災害による労働損失日数をもって災害の程度を表した指標

DOWAハイテックにおける事故について

2016年1月3日未明、当社の子会社であるDOWAハイテック(株)において発生したタンク破裂事故により、2名の方が亡くなりました。亡くなられた方々に対し哀悼の意を表しますとともに、関係されるみなさまに多大なるご迷惑、ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後は、安全のための諸施策を確実に実施し、安全管理体制の強化に取り組んでまいります。

健康管理の推進

DOWAグループでは従業員やその家族の健康管理・増進に向け、健康診断やメンタルヘルス対策、スポーツ行事の支援など、さまざまな施策を展開しています。

健康診断

一人ひとりが健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう、毎年の定期健康診断の確実な全員受診に部門や事業所単位で取り組んでいるほか、人間ドックや婦人科健診、インフルエンザ予防接種などの各種助成制度も充実させています。また、40歳以上の被保険者および被扶養者を対象とした特定健診(特定健康診査)の受診率向上に向け、グループ報による情報提供などを実施し、受診率は少しずつ増加傾向にあります。

さらに、スポーツや運動を通じて、健康なからだを維持・増進していくよう、従業員のスポーツ行事への補助金交付制度を設けています。

メンタルヘルスの取り組み

DOWAグループでは、心身ともに健康な職場づくりに取り組んでいます。社員の心の健康管理(メンタルヘルス・マネジメント)のため、メンタルヘルス・カウンセリング制度を運用し、専門カウンセラー(臨床心理士)による電話や面談の相談を受けられる専用ダイヤルを設置しています。また、2013年度から、従業員のメンタルヘルス不調の未然防止を目的として、自身のストレスへの気づきを促し、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげるため、メンタルヘルスを自己診断できるストレスチェック・ツールを導入しています。